ボランティア支援プロジェクト (略称 VSP) 活動紹介

~学生支援GP採択から現在まで~

法政大学ボランティア支援プロジェクト(市ヶ谷) 法政大学ボランティアセンター学生スタッフ(市ヶ谷) 代表 田代 智夢



はじめに

■プロジェクトから大学の組織へ

時期	出来事	学生スタッフの属性
2007年秋	学生支援GP採択・ボランティア支援プロジェクト(略称VSP)結成	ボランティア支援プロジェクト 学生スタッフ(略称VSP)
2008年4月	学内ボランティアセンター設立に向け、 本格的に活動開始	
同年10月	常務理事会がボランティアセンター設立 準備を承認	
同年11月~	ボランティアセンター設置準備委員会開催(12月まで計3回)	
同年11月	プレ・ボランティアセンター開設 (学生スタッフ発案で、1週間限定の仮 ボラセンを設置・運営)	
2009年4月1日	ボランティアセンター開設	法政大学ボランティアセンター 学生スタッフ(略称VSP)
2010年現在	開設2年目	

ボランティアセンター学生スタッフ (市ヶ谷)活動目的

「学部生のボランティア活動促進」

◎目的を明確にし、そこからブレないように日々活動している。

現在、市ヶ谷ボランティアセンター学生スタッフは20名所属就職活動生を除くと約15名で活動している。



学生スタッフの活動(1)

「学生スタツフ企画」の実施

■「学生スタッフ企画」とは? 企画案の作成、準備、告知、実施・運営など ほとんど全て学生スタッフの力で行う。



① 学生スタッフ企画 例 「春のボランティアWEEK」

【時期·場所】

- ○毎年4月下旬に1週間実施
- ○2008年より毎年実施、**今年で3回目**

【目的】

○市ヶ谷キャンパス内のボランティアサークルを集め、 新入生の勧誘を行う。

【効果】

- ○毎年のべ150名~200名程度の来場者
- ○<u>このイベントを通して、ボランティアサークルやボランティアセンターの存在を知る新入生が多数</u>

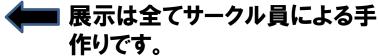
(アンケート結果より)

例:春のボランティアWEEK 2008-2010

約10団体が参加します。展示コーナーと合同説明会を設けています。



サークル員が直接生の声を伝える_| 合同説明会です。





★ピア・サポートの実践 (サークル・スタッフ先輩⇒サークル・スタッフ後輩)



学生スタッフの活動②

「ボランティアセンター企画」へ の協力

■「ボランティアセンター企画」とは?

大学の教職員が中心となって、企画・準備・実施を行う。学生スタッフは、「企画スタッフ」として関わる。



② ボランティアセンター企画への協力

企画スタッフとは?

- ①参加者同士の親睦を深めるレクリエーションの企画
- ②ボランティア現場の現状や問題点 について知る勉強会の企画
- ③ツアー進行の補助

などをおこなっています。今年のボランティアツアーには全ての企画に VSPスタッフが企画スタッフとして携わりました。

★ピア・サポートの実践 (企画スタッフ学生⇒参加学生)



バスレクのしおり

`*..·'~行きのパス~`*..·' <流れ>

- 職員さんの紹介+センターの説明
- 全体説明
- 見えない共通点探し+自己紹介
- 伝言+ジェスチャーゲーム
- ピンゴ+クイズ
- サバイバルクイズ

<全体でのルール>

- ✓ 狂おしいほど(笑)楽しんでほしいです
- ✓ 積極的に参加してほしいです
- ✓ レク係には優しくしてあげてほしいです。(『ここ笑ってあげた方がいいかな?』とか。)
- √ 体調を崩されたり、どうしても眠かったりした場合には早急にパスレク係に声をかけてください。 前の方の座席に案内します
- ✓ (豪華!?)商品があるので、優勝目指してはりきって取り組んでほしいです。

<詳細(ルール等)>

「職員さんの紹介+センターの説明」

→・今日のスケジュール、・注意事項 など

「全体説明」

→今日の行き・帰りのパス内で行われるレクについての説明

「見えない共通点探し+自己紹介」

-楽しみ方-

- 班内で自己紹介をしてください。項目は、[①:名前とあだ名②:学部学年③:ゴールデンウィーケをどんな風に過ごしたか]の3つです。5分くらいの時間を想定しているので、 一人1分程度でお願しださい。
- 2. 次にその4人の見えない共通点を探してください。時間は"5分間"です。※なるべく



バスレク資料(富士山清掃より)



勉強会の様子(夕張ボランティアより) 1





プログラムの司会・進行 (サマーキャンプより)





ボランティアセンター企画紹介

■2010年5月27日 富士山清掃ボランティア 学生64名参加



土砂降りの中で作業しました



こんなに大きなゴミも!

■2010年8月8-9日 サマーキャンプIN多摩キャンパス ~小学生と夜の虫観察~ 学生20名参加



小学生と一緒にカレー作り!



夜はナイトハイクで カブトムシ・クワガタを捕獲!



■2010年9月1-2日 埼玉県林業体験ボランティア 学生45名参加



大鎌を使った下草刈り



のこぎりを使った除伐作業

■2010年9月12-15日 夕張まちづくりボランティア 学生34名参加





旧炭鉱坑口の整備。ビフォーとアフターです。



学生スタッフ企画の今後

■学内定期イベントの新規実施

・「冬のボランティアWEEK」(今年11月下旬内定)の実施。内容は、各ボランティアサークルの成果発表を想定。

■学内ボランティアの開発

・食堂外の放置トレイの片付け→まず調査からはじめて、その後マナー向上 キャンペーンへ発展させる(今年秋~予定)

■地域貢献ボランティアの開発

- ・福祉施設「一番町はあとサロン」での傾聴ボランティア(今年6月実施済)
- ・千代田区内災害救援ボランティアの協力(今年秋~予定)

◎上記は全て「定期化」を視野に実施済、もしくは実施検討中。

ご清聴ありがとうございました





ボランティア支援プロジェクト(VSP) 事例報告

~多摩ボランティアセンター活動報告~

社会学部 メディア社会学科 3年 吉田 開

多摩ボランティアセンターの取り組み

・地域と学生を繋ぐ

学生の"想い"と多種多様な情報をリンクさせる。 ボランティアを通して、地域や学生同士の交流を深める。

新たなボランティアをつくる

「こんなボランティアあったらいいな」を発掘する。 学生が持ち込んだアイデアをバックアップする。

・ボランティア活動促進

ボランティアに参加するきっかけをつくる。 学生の関心の幅を広げて、意欲を高める。

主軸となる3つのプログラム

・相原交流プログラム

多摩キャンパス周辺で行っている地域活動

- ·小学校 ·中学校 ·高齢者施設 ·NPO等
- ・ガイダンスプログラム

ボランティア初心者のためのきっかけ作りとスキルアップ ・ボランティアガイダンス ・ボラセンを語る会

特別プログラム

様々なジャンルを取り入れたユニークな活動

・パレスチナプログラム・里ボラ~守りたい藤野~

プログラム事例(パレスチナプログラム)

【経緯】

ボランティアセンター主催のパレスチナに関する講演会で、ワークショップ(日本にいる私たちが、パレスチナの人たちに何ができるか)を実施

→ 小学校の子供たちに教えに行こう

【目的】

子供たちに、パレスチナ問題を皮切りに 世界の現状について知ってもらう

【活動内容】

- ・NPO法人開発教育協会(DEAR)にて、 ワークショップを学習
- ・東京外国語大学にて、 ワークショップの実践を見学・意見交換



大戸小学校にて「難民ゲーム」を実施

community

students

学生スタッフの活動内容 ボランティアの紹介

学生スタッフの目線でボランティアを紹介 ボランティア初心者には、一緒に同行

企画

地域のニーズに合わせたボランティアを企画 ボランティアに興味がなかった学生のきっかけ作り

広報

ボランティアのポスター作成・配布、ブログ 情報誌「TARACO.」の発行

今年度の登録学生スタッフは28名。ミーティングは週2~3回





さいごに

・ボランティア活動を通して学んだこと



御清聴、ありがとうございました。

同郷会プロジェクト

神奈川県出身大阪府出身

牛田亘西村大樹

21

同郷会の紹介

○目的

都道府県人会の設立

学部・学年を超えて学生同士が気軽に交流できる機会を提供 卒業後も同窓生同士がお互いに交流できるきっかけ作り

登録会員数約50名

○ 学生スタッフ

約4名(うちコアスタッフ2名)

同郷会プロジェクト会員数

神奈川 4人

北海道 1人

秋田 2人

東京 1人

福岡 2人

岡山 1人

埼玉 2人

宮城 2人

兵庫 2人

千葉 3人

山梨 1人

愛媛 4人

茨城 2人

広島 2人

熊本 1人

静岡 2人

岐阜 1人

沖縄 2人

愛知 1人

富山 1人

鹿児島 1人

長野 2人

三重 1人

新潟 3人

大阪 1人

計49名

栃木 1人

山形 2人

これまでの主な活動紹介

○ 毎年 HOW TO ひとり暮らしの作成・配付

○ 毎年4月 新入生向け相談窓口開設

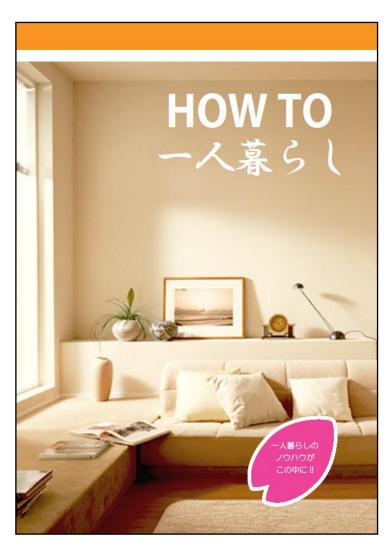
○ 毎年5月 六大学野球観戦ツアー

○ 2008年度 オープンキャンパスへの参加

○ 2009年度 法政フェアin仙台への参加

○ 2009年度 Uターン就職支援相談会

HOW TO ひとり暮らしの作成・配付



・地方出身の新入生のため に作成

○後援会から高評価

新入生向け相談窓口開設

○ 学生生活・一人暮らしの相談窓口開設



相談者数

2008年度:32名 2009年度:15名 2010年度:12名

六大学野球観戦ツアー

○神宮球場で郷土の選手を応援!



オープンキャンパスへの参加

○ 地方からの来場者向けに同郷会紹介ブースを開設



来訪者:100名以上



法政フェアIN仙台への参加

○ 大学イベントの法政フェアin仙台の受験生向けブースで学生生活相談を担当



Uターン就職支援相談会

○ Uターンを考えている学生のための相談会



相談者(3年生):12名

相談員(4年生):5名





これまでの問題点・課題

- ○スタッフの慢性的不足と定着率の低さ
- 登録してくれた会員への対応
- ○地方出身者の意識の差
- 安心できる居場所(部屋)の提供ができていない

課題解決に向けて

後援会組織との連携



学生の紹介,ニーズの調査

○ 他プロジェクトとの連携



イベントの共催による実施

○イベントの特化



新入生,就活生へのサポート

ピア・サポートプロジェクト 「新入生サポーター」

法 政 大 学

高畠俊樹(経営学部2年) 新宅直人(生命科学部2年)

目 次

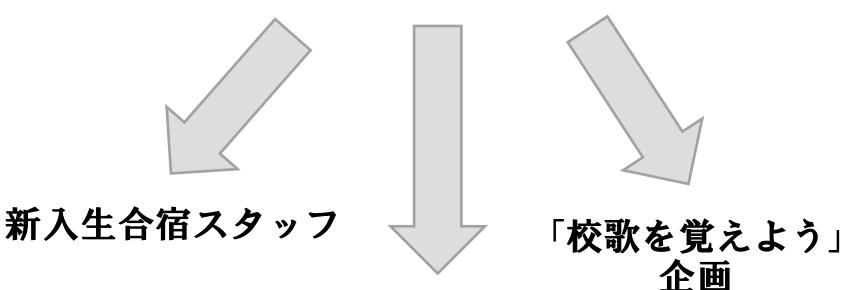
• ピア・サポートプロジェクト

- 新入生サポーター
- ●参加動機・感想
- ・終りに



ピア・サポートプロジェクト

「学生が学生を支援する」



新入生サポーター

新入生サポーター制度

市ヶ谷地区・・・2007年度から

多摩地区・・・2008年度

小金井地区・・・2008年度から

新入生の質問・相談に回答する



新入生の不安の解消・手助け

2010年度実施状況(市ヶ谷地区)

- 日時 4月5日~4月16日(昼休み40分、17:00~17:40)
- 場所 外濠校舎学生センター前
- 学生サポーター 19名
- 延べ相談者 約150名
- 延べ相談件数 194件
- 相談内容・履修の仕方
 - ・講義内容
 - ・サークル



2010年度実施状況(小金井地区)

- 日時 4月10日~4月24日
- 場所 東館マルチユースホール
- 学生サポーター

20名

- 延べ相談件数 約100件
- 相談内容
- ・時間割の見方
- ・授業科目の取り方
- ・サークル

新人生分析一个制度のご案内

先輩たちに大学生活について 聞いてみませんか?___

新入生サポート制度とは?

これからの大学生活で抱えている不安などを研修を受けた 先輩たち(新入生サポーター)が経験に基づいてアドバイスし ます!1年生だった頃を思い出しながら相談にのりますので、 貴重な話が聞けると思います。大学生活のこと、科目履修の こと何でもOKです!

活動期間:4月10日(土)~24日(土)(日曜日は除く) お昼休み、および4限終了から1時間程度

(土曜日は昼休みのみ)

活動場所:東館1Fマルチユースホール

いつでもお待ちしています!

※新入生サポート制度についてのお問い合わせは、学生センター小金井学生生活課まで

新入生サポーター参加動機

自身が新入生の時に新入生サポーターに世話に なったから

• 大学生活に不安を抱えている新入生の力になれた

らと思ったから

- 昨年も参加し、自分も新しい 発見や気づきがあったから
- 新入生と交流したいから
- 新入生合宿スタッフ・KYOPRO スタッフ・オープンキャンパス スタッフの活動の一環として

新入生サポーター募集 大学生活の先輩して、新入生にアドバイスを!

新入生に対して、「時間割の組み方」「施設の利用方法」など、自分の経験に基づいてアドバイスをするものです。自分が1年生だった時のことを思い出して質問に答えてあげてください。

※応募資格:学部生 現在1~3年生

※活動時間:2010年4月5日(月)~4月16日(金)

お昼休み、および夕方1時間程度

☆3月20日(土)に打合せを予定☆

やってみようかな・・・と考えている人は学生センターに応募用紙を

提出し、下記の研修会に参加してください。

たくさんのご応募お待ちしています♪

日にち: 3月13日(土) 時間: 13:00~17:00

研修内容は、「領聴」など下級生とのコミュニケーションの取り方について学びます。

場 所: 市ヶ谷キャンパス富士見坂校舎 F309

問い合わせ:学生センター(外濠校舎1F) 03-3264-9478 担当:佐藤

新入生サポーター活動後の感想

- 自分自身も学ぶことができた
- 人に関わることの楽しさを感じ、楽しく活動できた
- よい経験となった
- 新入生の役に立てて嬉しかった
- 他学部の履修については答えられないことが多かった
- 自身の新入生勧誘活動もあり、あまり参加できなかった

終りに

新入生サポーターの活動

支援される側

大塚
する側

御清聴ありがとうございました。

学生支援GP 障がい学生支援プロジェクト

市ヶ谷障がい学生支援室 障がい学生サポートスタッフ

活動報告

障がい学生サポートスタッフとは

□ 障がいのある学生が他の学生と同じように講義を 受講できるような支援(=講義保障)を行う学生ボ ランティアのこと

□ 支援に必要な講座や講習を受講後、障がい学生 支援室へスタッフ登録し、サポートが必要な障が い学生の支援を行う

サポートスタッフの活動①

□講義保障

現在は主に聴覚障がい学生に対し、ノートテイクや手 話通訳を行っており、支援の必要な授業のほぼ全てに スタッフを派遣できている

※ノートテイクとは...

要約筆記通訳とも呼ばれ、授業の内容などの音声情報をノートやパソコンを使って文字に変換して伝える方法のこと。集中力を必要とするため、90分間の授業では2名のスタッフが交代しながら行う。聴覚障がい学生1名が1週間10コマの授業を受けるためには、およそ延べ20名のスタッフが必要になる。

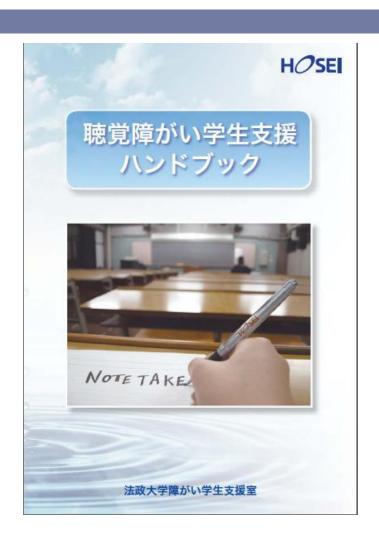


小青報保障論I (水曜3限)....09/22·1

これにちに、今日は情報保障論の 等二日目です。みなか出版からは もらいましたか?/ 今日は人」てのキャ しこういて 説明します。

サポートスタッフの活動②

- □聴覚障がい学生支援ハンドブックの作成
- 支援室の決まりやノートテイクのルールをまとめ、スタッフがスムーズに活動できるようにした
- 支援を行う授業を担当する先生方にも配付することで、障がい学生やサポートスタッフのことを知ってもらえた



サポートスタッフの活動③

□勉強会の企画・実施

- サポートスタッフの知識を深め、より質の高い支援を行えるようにするとともに、サポート実績のない障がいをもった学生が入学してきた際に備えることができた
- スタッフ以外も受講できるよう学内に公開し、啓発活動も 行った



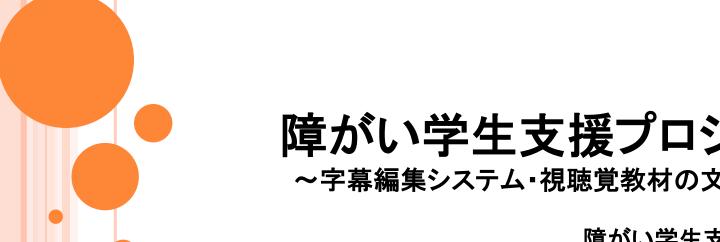


まとめ

- これらの企画はサポートスタッフと障がい学生が 一緒に行っており、支援する、される、助け合う、 というコミュニティが形成されつつある
- ノートテイクなどの必要数は満たしているため、今後はスキルアップ講座や実習などを行い、より質の高い支援を行う活動をしていきたい
- 障がい学生やサポートスタッフのことを知らない 方が多いため、勉強会などを行い、理解を深めて もらう活動をしていきたい

ご静聴ありがとうございました





障がい学生支援プロジェクト

~字幕編集システム・視聴覚教材の文字おこし~

障がい学生支援室(多摩)

概要





ノートテイカーの作業負担軽減

昨年度からの取り組み

2009年9月~

- 担当教員への「障がい学生支援に係る配慮依頼文書」に 文字起こしの案内告知を掲載
- サポートスタッフの募集・登録開始

2009年10月~現在

教員の教材持ち込みの受付開始 音声登録サポートスタッフ:23名 後期文字起こし件数:8件

文字起こし機材



文字起こし手順



プレーヤーで映像を再生しながら、 その音声をヘッドセットを用いて復唱する。



音声が即座に文字化される。

文字起こしされたテキストをワード形式で保存、 再度映像を見ながら、文章校正をする。

文章校正

の役割を大きく変性させるに至っています米と ☆戦体制の崩壊はアメリカ1極体制をつくり出 ましたがアフガンイラク戦争を経て近年の金 融危機にわたってアメリカ体制も大きく揺らい でいる状態であります日部首に代わる小浜政 権の誕生をわが国の自民党体制の民主党へ の返還をこれと無関係ではないと思います地 球環境問題もその深刻さを指摘されながらも 先程皮決まりました国連機構変革運動枠組み 条約第15回締約国会議通常国会中思う先進 国との発展途上国との対立で雌雄を通気性も なかなか決められない状態でありますこのよう な激動期の中で皆さんは社会に出ているかと いうことが何を意味するかを私真剣に考える必 きがあると思います手安定した社会安定した

×部首に代わる小浜政権

〇ブッシュに代わるオバマ政権

×雌雄を通気性も

OCO₂規制も

パソコンに学習させると 精度が向上する

今後の課題

・映像への字幕添付

・教員への周知の徹底

学生支援GPシンポジウム ピアサポートの継続性と可能性

キャリア支援プロジェクトキャリアセンター学生サポーター

★自己紹介★

古澤妙子
法政大学経営学部経営学科 2009年度卒業

キャリアセンター学生サポーター第2期生

ほかにも ボランティア支援プロジェクト 障がい学生支援プロジェクト

ピアサポートでたくさんお世話になりました♪

キャリアセンター学生サポーターとは

就職活動中の学生をサポート

就職活動を経験した身近な存在として

サポーターの活動について

人数:34人

(男女比26:8)

活動期間:4年生の

10月~2月

就職活動が本格化する時期

主な活動内容

o学生相談

・イベントの企画・運営

イベント紹介★なんでも相談会



イベント紹介★集団面接



イベント紹介★OB・OG交流



実際やってみて

○難しい!!!

相談やイベントの目標地点

○嬉しい!!!

少しでも「力になれた」と感じられたとき



4年生になって新しい仲間に出会えるとは♪

継続性

- ○自ら希望し・必要とされている役割
- ○良い循環サイクルが出来ている

可能性

- 「学生」だから出来ること
- ○その代の特色を活かしても

ご清聴いただき ありがとうございました。 2007年度 文部科学省・学生支援GP採択「Hosei PSC」

課外教養プログラムプロジェクト (KYOPRO) 活動報告

JAL機体整備工場見学

数学的思考でスキルアップ

薬物問題写真展

1枚のフィルムが農業を変える

都心で行なう天体観測

よしもと流「発想法」講座

チーム阿波踊り

健康みなおし週間

坐禅のススメ

東京六大学野球応援

オレンジアスリートフォーラム

神楽坂案内ツアー

「課外教養プログラム」では、 いつもの授業とは一味違う体験ができます。

KYOPROスタッフのミッション

学生と大学と協働し、プログラムをつくります。

- 学生がつくる、学生のためのプログラム
- プログラム運営を通じた「学生サポート」

課外教養プログラムの企画・運営を通じて、

「参加者間の交流」「学びのきっかけづくり」

をサポートします。

プログラムができるまで

「坐禅のススメ」を例に、実際の活動を紹介します。



KYOPROスタッフの活動は「実践」の連続です。



「身近な問題の発掘」



健康みなおし週間



大学生が考える薬物乱用防止の取り組み一薬物問題写真展一



「留学生サポート」



東京六大学野球応援



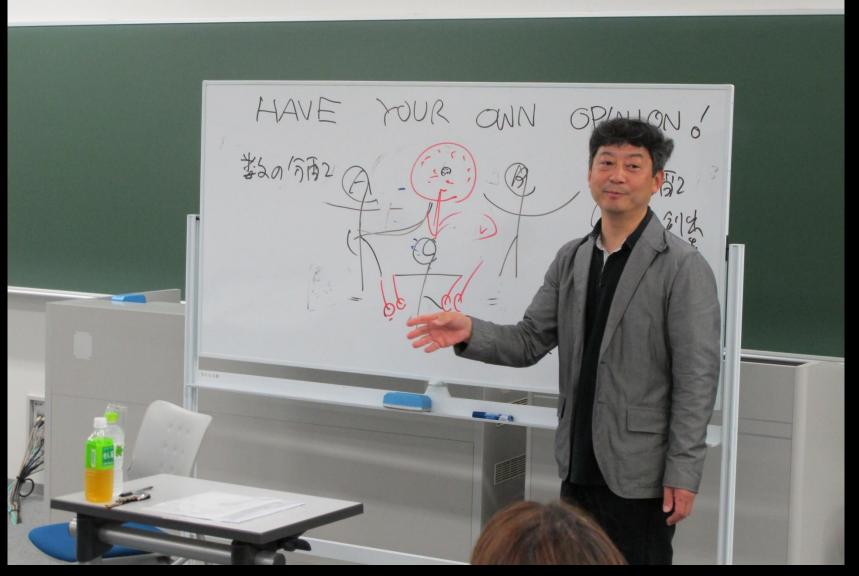
チーム阿波踊り



「エンパワーメント」



大学生なら知っておきたい基礎教養講座一心理学ー



よしもと流「発想法」講座

1. スタッフ数の推移



毎年、一定のスタッフ数でサポートできた。

2. 所属学部(2010年度)

【市ヶ谷】法、文、経営、人間環境、キャリアデザイン、 GIS(グローバル教養)

【多 摩】経済、社会

【小金井】理工、生命科学、工(募集停止)

全15学部のうち、10学部から加入

毎年、多角的な視点からサポートできた。

3. 学年(2010年度)

【1年生】 5名

【2年生】 7名

【3年生】12名

【4年生】 8名

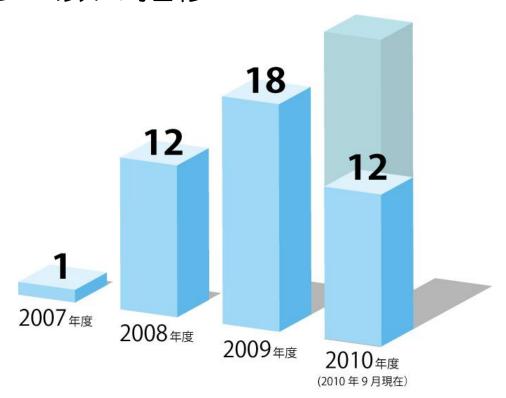


毎年、上級生を中心に全学年が関わった。

- 4. 「第3のコミュニティ」としてのKYOPRO
- ●他キャンパスの学生と触れ合えて楽しい。刺激になります!
- ●希望していたゼミの選抜に漏れ、ゼミに所属していません。 KYOPROに打ち込みたいと思います!
- ●編入学のため、ゼミやサークルに所属していません。 出遅れ感を払拭したいです!

クラス・ゼミ(正課教育)、クラブ・サークル(正課外教育)に次ぐ、「第3のコミュニティ」になり得ている、と言える。

5. プログラム数の推移



毎年、プログラム数は増えている。

6. プログラムの特徴① 視点の変化





「知的好奇心を満たす」だけでなく、大学(学生)の問題を解決しようと試みる視点が加わった。

7. プログラムの特徴② 継続の中での変化



英語サポーターの導入



後援会(徳島県支部)の 協力



キャンパスを超えた 企画

「より良いプログラムを!!」を目標に、現状に満足することなく、常にどう改善できるかを考えた。

8. プログラムの特徴③ 既存インフラの活用







学内・学外の団体と連携して、「ピア・サポート」の 要素を盛り込んだプログラムを再構築した。

9. まとめ

●「第3のコミュニティ」としてのKYOPRO

クラス・ゼミ(正課教育)、クラブ・サークル(正課外教育)に次ぐ、「第3のコミュニティ」になり得ている、と言える。

●「学内インターンシップ」としてのKYOPRO

企画から運営まで実践的な活動に携わることで、 「社会人基礎力」の養成につながっている、と言える。

10. KYOPROスタッフの声

KYOPROスタッフになって 良かったことは何ですか?



大学生活が前より楽しくなった!

各自の想いが、この一言に凝縮されていると思います。



「成長」を実感できた!

企画から運営まで一貫して関わる中で、 様々なチカラが身についているようです。

Best 3

新たな出会い・発見がある!

他学部スタッフとの交流はもちろんですが、 教職員との交流を「良かった」と感じる 人が多かったことは新たな発見です。



ご清聴ありがとうございました。